# 新型コロナウイルス感染症対策について

（１）大会全般について

・無観客試合とします。顧問・コーチ、選手(種目に出場しない部員も含む)以外は体育館に入れません。

・大会会場に入る全員（顧問・コーチを含む）を対象に体調確認を行います。健康状態確認シート２種類（２週間用・当日用）に記入し、チーム代表者へ渡してください。(当日提出してください。)

・試合を行っている選手以外は、基本マスク着用をお願いします。(熱中症対策のため意識的に水分補給をしてください。また、試合直後などはマスクを外していても構いませんが、ソーシャルディスタンスを確保してください。)

・体育館入場時の密を避けるために来場時間を分散します。詳しくは後日配信される大会プログラムを確認してください。(来場時間まではバスや車で待機するようお願いします。)

・外履きは袋に入れ自分で管理し、下駄箱は使用しないようにしてください。

・待機場所では密にならないようにしてください。(待機場所はランニングコース、ステージとする。)

・昼食場所についての連絡です。ステージが待機場所となっている選手はその場所で食べてください。（本来ステージ場所は飲食禁止となっていますが、密を避けるためにこのような対応とします。）ランニングコースが待機場所となっている選手はロビーで食べてください。場所が限られていますので、食べ終わったらすぐに場所を空けるようご協力お願いします。顧問・コーチにつきましては、２階の会議室を利用してください。

・定期的な手指消毒をしてください。

・ごみは各自で持ち帰ってください。

・参加者の安全を確保するため、体調不良が疑われる場合は検温ののち途中退場を求める場合がありますのでご了承ください。(顧問・コーチを含む)

（２）大会開始前について

・大会当日の朝に自宅で検温を行い、発熱等の風邪症状がある場合は来場を禁止します。その際は会場に行かずに各チーム代表者へ連絡してください。

・チームの代表者は、監督会議で健康状態確認シート２種類（２週間用・当日用）を本部に提出してください。(監督会議に参加されない場合は、専門委員長へ直接提出してください。)

・監督会議は審判待機席で行います。密を避けるため基本各校１名の参加とします。(役員を除く)

（３）大会進行について

・大会役員により、定期的な換気を行います。(３時間ごとに１０分程度)

・全試合終了後に選手によりモップ掛けを行います。(その後大会役員がモップを消毒)

（４）試合について

・試合の前後に必ず手指消毒をして下さい。(選手・主審・線審)

・個人戦のサイドコーチ席は１席のみとします。(コーチのみも可)

・コートサイドに各自バッグを持参し用具やドリンク等を保管してください。(カゴは設置しない)

・選手同士の握手は行いません。

・審判は敗者審判制です。試合に負けた選手は、手指を消毒した後、本部席から次の試合の審判トレイを受け取り、コートに移動して試合を始めてください。（今年度は本部に主審待機席を設置しません。詳しくは後日配信されるプログラムの「大会申し合わせ事項」を確認してください。）
・応援は拍手のみにし、大きな声での会話や応援（声援）はしないでください。
・プレーヤー同士やコーチとハイタッチ等の接触を行わないでください。

（５）その他

・今大会は「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン」を参考に、釧根地区バドミントン協会の指導の下、実施します。
・出場選手へ「当日に関する確認事項（選手向け）」を徹底してください。

## 【別紙】当日に関する確認事項（選手向け）

□ 外出前に健康状態確認シート(当日用)に記入する。(監督・コーチへ提出)

□ 体調に異変を感じた時には参加を中止する。
(棄権の時は会場に行かずにメール及び電話で監督・コーチへ伝える)

□ 外履きは袋に入れて自分の手元に置く。(下駄箱を使用しない)

□ 観戦は指定された場所や席で行う。または距離を空けて観戦し、席は移動しない。

□ 待機時など試合以外は基本的にマスクを着用する。
〇試合直後などはマスクを外していても良いが、ソーシャルディスタンスを確保する。
〇熱中症対策のため意識的に水分補給をする。

□ ウォーミングアップは距離を空けて行う。

□ 選手は試合前の握手は行わない。

□ 選手は試合中の声出しをしない。

□ コートサイドのかごを設置しない。コートサイドには各自バッグ等を持参し、飲み物も各自のバッグに収容する。

□ ラケット、タオルの貸借をしない。

□ プレーヤーまたはコーチとハイタッチ等を行わない。

□ コーチングは一定の距離を保った上で必要最小限に短時間で行う。

□ 全てのゴミを持ち帰り自宅で処分する。(感染症拡散防止の観点から徹底すること)

※感染症対策を遵守し、体温に異常がみられる場合や体調がすぐれない場合には大会会場へ行かずに棄権してください。クラスターを発生させないことが最優先です。